

平成22年度第2回磐田市立図書館協議会会議録

日 時 平成23年2月9日（水） 午後3時から午後5時まで

場 所 磐田市立中央図書館2階会議室

出席者 委員：青島公悦（会長）、寺田美津子、伊藤節夫、川井士朗、鈴木嘉子、山岡裕子、
大坪裕子、高梨俊弘、平野富美子（欠席者）：宮沢知子（以上敬称略）
（事務局等）

飯田正人教育長

中央図書館：金原伸治館長、鮫嶋篤克館長補佐、長島雄一郎主幹、太田雄介

福田図書館：大庭紀二館長 竜洋図書館：鈴木良夫館長

豊田図書館：高梨喜由館長 豊岡図書館：松本栄一館長

内 容 以下のとおり

1 開会（鮫嶋補佐）

本日は大変お忙しいところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本日の出席委員は、定数の過半数を超えていますので、会議が成立しておりますことを報告いたします。ただ今から、平成22年度第2回磐田市立図書館協議会を開催いたします。

なお、「磐田市審議会等の設置及び運営に関する指針」の規定により、当協議会は会議の公開等を行うこととなっております。これに伴い、本日の会議の開催日時や議題及び傍聴等について、既にホームページに掲載しておりますが、現在傍聴者はおられませんのでご報告いたします。

2 会長あいさつ（青島）

昨年10月に開催された静岡県図書館大会へは、多くの委員さんに参加をいただき、誠にありがとうございます。大会の中でも「i P a d」と図書館との関わり、デジタル化と本との関わり等が話題となっておりましたが、図書館を取り巻く環境の変化も激しくなっております。そのような中で、福田図書館長からも様々な図書に関する情報を伝えてもらっている努力には、いつも本当に感謝申し上げます。

さて、先に申し上げた「i P a d」については、メリットも多い反面デメリットも考えられるため、図書館と結びつけて考える際にはより慎重にする必要があると考えます。

目先のことだけに捉われすぎでは、より良い図書館運営はできないものと思います。会議資料等を見ても、図書館利用者や貸出点数の実績も充実していますし、現在の社会状況の中においても地に足が着いた運営をしていただき、利用者にとっては大変ありがたい環境を整えてもらっていると思います。

本日は、これらの状況も踏まえ、各議題を慎重にご審議いただきますよう、よろしくお願いたします。

3 教育長あいさつ（飯田教育長）

年度末のお忙しい中、当協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。青島会長をはじめ委員各位におかれましては、図書館の運営はもとより、教育行政全般にわたり、ご理解とご協力、そしてご支援をいただき併せて感謝申し上げます。

さて、昨年は「国民読書年」、「図書館法施行60周年」であり、また「電子書籍元年」ともいわれました。振り返りますと、4月の「子ども読書の日」には、中央図書館が「子ども読書活動の優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を授与、6月末には豊岡図書館の豊岡支所・西館への移転方針が決まり、9月議会において補正予算が可決されました。現時点では、2月26日の開館記念式典を待つばかりで、委員さんのご出席をぜひお願い申し上げます。

また、2月1日付けで、「中東遠地区広域図書館業務提携書」の締結、3月下旬には「磐田市子ども読書活動推進計画・第2次計画」のパブリックコメントの募集を予定しているところでもあります。本年度は、大変実りのある年度でありました。これもひとえに、委員の皆様のご指導と職員の地道な努力の賜物と感謝を申し上げます。

今日、デジタルディバイド（情報格差）がよく言われておりますが、高度情報化社会における図書館の役割の一つは、誰もが必要な情報に、容易に確実にアクセスできる条件の整備を行うことにあります。また、特に子ども読書活動の推進は、読書を通じて豊かな創造力と考える力を育み、心豊かな社会の実現につながるものであります。図書館は、生涯学習施設の一つとして、その役割が益々大きくなっており、職員一同、一層の努力をしておりますので、委員の皆様には今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、本日の議題は、平成22年度の中間事業報告や平成23年度の主要事業等について報告があります。委員の皆様には、是非忌憚のないご意見等を賜りますようお願いを申し上げ、簡単ではありますが、ごあいさつとさせていただきます。

4 議事（青島議長）

（1）平成22年度事業中間報告について（4月～12月）

事務局から説明

（長島主幹）⇒事業報告資料に基づき概要説明

○開館日数、入館者数

⇒図書館コンピューターシステムの更新に伴う休館期間があったため昨年より減となっている。

○登録者数

⇒システム更新時に、合併統合時の重複データ等を精査・削除した。

○貸出状況、資料所蔵状況

○レファレンス状況

○インターネットサービス・図書館ホームページ

⇒インターネットによる図書の予約が増加している。昨年10月か

らホームページをリニューアルした。

○障害者サービス

⇒録音図書が減少し、代わりにDAISYへ移行。(カセットテープからCD-ROMへ)

◆質疑・意見等

(高梨委員) 資料を確認し、実績値が減少しているものがあることに注目していましたが、システム更新等の状況説明を伺い、より理解が深まりました。

(2) 平成23年度市立図書館運営について

事務局から説明

(金原館長) ⇒資料概要説明

○基本方針・運営方針

□5年間の中期目標のうちの2年目に入り、本方針を基に更に具体的な施策を進めていく。

□「住民生活に光をそそぐ交付金」の活用⇒2月市議会へ補正予算として計上を予定

○重点事業

□各種サービスの充実(レファレンス、高齢者、インターネット、市民活動支援等)

□資料の充実と活用(一般資料・雑誌の充実)

⇒雑誌スポンサー制度の導入

□子どもの読書環境の充実

⇒磐田市子ども読書活動推進計画(第2次計画)の策定

⇒読み聞かせボランティアとの協働

□図書館利用が困難な方々へのサービスの充実

⇒DAISY等の資料提供

□管理運営

⇒5館の機能強化と施設の安全性・快適性の確保

⇒図書館コンピューターシステムの円滑な管理・運用

⇒他図書館(公立・大学)・専門機関との連携と協力

⇒職員の能力向上(CS向上、専門能力の向上)

○事業概要(平成23年度)

□施設管理事業

⇒ネットワークの効率化

⇒静岡産業大学図書館との連携

⇒施設維持管理(窓ガラス飛散防止フィルム張り整備)

□図書館協議会運営

⇒委員改選期にあたるため、委員構成等検討していく。

- ⇒親子読書推進事業（子ども読書活動推進計画（第2次）の策定・推進、ブックスタート事業・読み聞かせボランティアとの協働）
- ⇒茶の間ひととき読書運営事業
- ⇒展示室・視聴覚ホール活用・公開講座開設・天体観測室活用事業
- ⇒資料整備事業（住民生活に光をそそぐ交付金の活用）
- ⇒視覚障害者サービス事業

◆質疑・意見等

（山岡委員）重点項目の中に、「子ども読書の推進」を置いていただき、学校関係者としても大変ありがたく思っています。学校図書館は、読書センター・学習情報センターとしての機能を持ち、「調べ学習」に必要な資料の充実を図っていく必要があります。併せて「読書」への導入段階の場としての機能も持っているため、それを更に広げ、質を高めていくには公共図書館へつなげていくことが最良と考えています。いつも頼りにしています。

（川井委員）「読む楽しさ」を学べるのは学校図書館でも可能だと思います。今後はそれを広げ、複合的かつ新しいものを生み出す力が重要になってきます。公立図書館の持つ機能としては、このあたりにも目をつけていくと更に良くなると思います。また最近、何らかの事情から立ち直るのが困難な子がいます。そのような場合も含め、図書館に来たら何かある、何か求めるものがある、興味を引くものがあるということになってくれれば良いと考えます。

（伊藤委員）先ほど「調べ学習」のお話がありましたが、学校図書館だと書籍等が年々古くなってしまふ恐れがあります。現在磐田市では、茶の間ひととき読書運動が進められていますが、例えば1～6年生まで拡張していくのも良いのではないかと思います。竜洋西小学校では「絵本100選」という取り組みを行っています。また、中学年からは伝記を読ませ、昔の人の生き方を知り、5～6年生では世界の文学へ目を向かせる流れができればいいと思う。それとともに、公立図書館と学校図書館との連携をもっと密にしていきたいと思う。

（大坪委員）一般市民の方の利用としては、2月現在の利用者数が20年度：379人、21年度：591人、22年度：1,098人と年々増加しています。中でも1月31日（月）は、16人の方が来館されました。館内は学生が中心のため、ペットボトルの持ち込みを可能としたり、学生間でディスカッションもするため、市民の方からは少なからず苦情も出ることもあります。しかしながら利用者の共存を前提に、できるだけ適切に対応しています。

（川井委員）産業大学の公開講座が土曜日の午後で開催されていますが、その時間大学図書館は休館となっています。できれば講座と図書館資料とのつながりを考えていただけるとありがたく思います。

(高梨委員) 中央図書館のレファレンスサービスコーナーに関する苦情がありましたが、学習スペースとの分けが必要かとも思います。このあたりのことをどう捉えていますか。

(金原館長) もちろん課題として認識しています。建設当時はやはり「貸出」が優先されていた事情もあり、現状のような造りとなっています。しかしながら現在のワンフロアの中で再配置を検討していくことは困難であると考えています。つきましては、現状を踏まえ、例えば学校の夏休みの間は、展示室の一部を学習室として開放をするなどの対応を図っています。

(伊藤委員) 竜洋図書館を利用していますが、高校生が勉強していても特段苦情のようなものはありません。中央図書館の場合は、設備も大きいのでそのような苦情も出やすいのではないのでしょうか。

(寺田委員) 雑誌スポンサー制度について、もう少し詳しく伺わせてください。また、0歳児を対象としたおはなし会がスタートし、若いご夫婦も参加したりして、とても良いことだと思います。ぜひ他館へも広げていったらいいと思います。一方で、電子書籍が話題となっていますが、やはり本の楽しさをわかってもらうため、0～2歳児のおとうさん・おかあさんが本に触れ合う機会は大変良いことです。ボランティアとの協働も進めていけると更に良くなると考えます。

(金原館長) 雑誌スポンサー制度については、後ほどの報告事項の中でご説明します。

(3) その他

事務局から説明

①豊岡図書館移転の進捗状況について

松本：資料概要説明

□経過報告等

⇒補正予算計上、改修・移転工事等、オープン：2月26日（土）

②磐田市子ども読書活動推進計画の改定について

長島：資料概要説明

□経過報告等

⇒第1次計画：平成18年2月策定（計画期間：平成18～22年度）

⇒第2次計画：平成22年9月から策定作業スタート

◎計画内容（案）に対するパブリックコメントの募集：3月

各委員の皆さんもご意見等あれば、あらためてご提出ください。

③中東遠地区広域図書館業務提携について

金原：資料概要説明

□経過報告等

⇒磐田市、御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、森町の5市1町の範囲

⇒平成23年2月1日付け締結、4月1日施行予定

⇒提携業務の範囲は、図書館資料の館外貸出・返却とする。

④雑誌スポンサー制度の導入について

太田：資料概要説明

□経過報告等

⇒新たな財源の確保、地域経済の活性化を踏まえ、館内の雑誌コーナーを活用し、図書の実用を図るため、本制度を実施していく。

⇒実施時期：平成23年6月頃を予定

⇒制度内容は、企業等団体に雑誌の購入費用をご負担いただき、配架された雑誌のカバー表紙にスポンサー名、裏面・雑誌架に広告を掲載していくもの。

◆質疑・意見等

③について

(大坪委員) 他市立図書館の所蔵本が返却されたら、どのような対応をすればいいでしょうか。

(長島主幹) それぞれ所蔵の市へ返却いただくこととなりますので、お手数ですがその旨お伝え願います。

④について

(寺田委員) 具体的な説明を伺い、内容がよくわかりました。ところで、このような制度は県内の図書館では実施されているのですか。

(太田) 先週、静岡県立中央図書館に確認したところ、県内で実施の動きがあるような情報は無いとのことでした。今の状況でいけば磐田が県内初ということになるかもしれません。

(飯田教育長) 他自治体の導入事例はありますか。

(太田) 神奈川県厚木市、埼玉県さいたま市・春日部市・深谷市、千葉県松戸市、栃木県小山市、三重県伊勢市などで導入されています。

(青島議長) 図書館では大いにPRをしていただくと同時に、各委員の皆さんもPRをよろしく願います。

事務局からの連絡事項 (金原館長)

先ほど、本協議会委員の改選についてお伝えしましたが、次回は委員10人のうち2人を公募枠とすることを考えています。具体的な選出方法等については、事務局にて検討し、青島会長に相談をさせていただく中で決定していきたいと考えます。

(委員了承)

5 閉会 予定通り本日の次第を終了したので、散会した。

以上